

topics

りんご  
出荷生産者大会開催

01

7月12日、長慶閣にて2021りんご出荷生産者大会が行われ、約90名の生産者が参加した。

今年は、つがるや早生ふじ系の新しい選果基準の設定とサンふじの取扱区分の増設を行う事から、感染症対策を講じて開催した。

大場勉組合長は「令和2年産は、目立った台風などの災害もなく目標を超える販売高で終わることが出来た。今年産も有利販売で生産者の所得向上に努めていきたい」と挨拶した。



新しいりんごの取扱いに耳を傾ける生産者ら

topics

笑顔で優勝報告

02

7月14日、相馬小学校の児童が主となる小学校野球合同チーム「相馬ドリームキッズ」の児童14名がJA本所の役員室を訪れ、全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北ブロック代表決定大会の優勝報告を伝えた。

キャプテンの蝦名陽翔君は「JAの応援のおかげで良い結果を報告することが出来ました。また次の試合もトロフィーを持って来ます」と力強く大場組合長へ伝えていた。



本所前で記念撮影

topics

新しいSSで  
安全に快適に

03

7月15日、湯口共防はSS更新に伴い、安全祈願祭を行った。

湯口共防にはSSが6台あるが、その内の1台の老朽化が進んだことから新車を購入した。共防長の山内明さんは「キャビンのSSが安全で快適であることから、共防内で人気となっている。キャビンのSSを増やし、安全に作業出来る環境を作っていきたい」と話した。

今年で60周年を迎える湯口共防のこれからの活躍に期待したい。



新しいSSを囲んで記念撮影

topics

楽しく読んで  
勉強して下さい

04

7月15日、相馬小学校の全校生徒に「ちゃぐりん」の贈呈が行われた。

当JAの三上隆基専務が6年生の三浦ほのみ図書委員長に109冊を贈呈した。

贈呈された8月号にはカブトムシ図鑑や野菜を紹介した畑図鑑、JAの歴史について等多くの事が書かれている。

三浦図書委員長は「みんなのちゃぐりんを楽しみにしていました。夏休みに読んで勉強します」とお礼を述べていた。



笑顔でちゃぐりんを受取る三浦図書委員長



種類豊富な雨具コーナー

7月17日、購買課では夏の大売り出しを湯口支所にて開催した。同日は、農業機械類や三脚、雨具、長靴、生産資材などが通常よりも安く売り出され、中でも雨具コーナーは人気のメーカーや数量限定の物などが大人気で、品定めをする来場者で賑わっていた。訪れた生産者は「いつもこのイベントで農作業に必要なものを揃えている。安くて助かっています」と笑顔で買い物を楽しんでいた。

topics

## 夏の大売り出し大盛況

05



感水紙を確認し、薬剤散布を見直す会員ら

7月20日、相馬村農協りんご共同防除組合連絡協議会では夏期研修を行い、感水紙を使って薬剤散布時にどのくらい薬剤が行き届いているのかを確認した。研修は中南地域県民局農業普及振興室が進行し、黄色い感水紙に薬剤がかかり、濡れて部分的に青くなった部分を見た会員らは、意外と内枝に薬剤が行き届いてない事を確認し、往復散布する等今後の薬剤散布に役立てようという意気込んでいた。

topics

## 散布ムラはないか確認

06



インボイス制度について研修を聞く会員ら

8月2日、JA相馬村農業青色申告会は午前中に夏期記帳研修会、午後に税務研修会を行った。そのうち税務研修会では、薬師山正人税理士がインボイス制度や国民健康保険、市民税、後期高齢者医療保険の算出方法について話した。溝江尚樹会長は「毎年会員らは薬師山先生の笑いを交えた話を楽しみにしています。今回の研修を活かして確定申告の時にスムーズに進めたい」と話していた。

topics

青色申告会  
夏期研修開催

07



農薬容器が大量に持ち込まれていた

8月4、5日、湯口支所と相馬支所にて2回目の農業用廃プラスチック回収が行われた。昨年夏までの回収は約480kgであったが今年は820kgと、約1.7倍の量となった。新しく春に1度回収を設けたことや広報6月号で取り上げたことで、共防単位での参加も増えていた。今後も適正な処理方法で廃棄できるように取り組みを進めていきたい。

topics

廃プラスチック  
回収量増加

08